



NIPS Seminar on Senso-immunology

第1回 感覚免疫学研究会

July 3-4
2017

大学共同利用機関法人 自然科学研究機構
生理学研究所
National Institute for Physiological Sciences



代表提案者：丸山健太
所内対応者：富永真琴

開催日;2017年7月3日(月)13:00-4日(火)12:20

開催場所;自然科学研究機構 岡崎コンファレンスセンター

代表提案者;丸山健太(大阪大学 免疫学フロンティア研究センター)

世話人;富永真琴(岡崎統合バイオサイエンスセンター)

7月3日(月)

- 12:55~13:00 開会挨拶
- 13:00~13:30 精神/疼痛の恒常性維持基盤における体内時計システムの役割
宝田剛志(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科組織機能修復学分野)
- 13:30~14:00 脊髄介在ニューロンに発現する Netrin-4 は神経障害性疼痛を制御する
山下俊英(大阪大学大学院医学研究科)
- 14:00~14:30 皮質トップダウン回路による触知覚とその記憶の形成
村山正宣(理化学研究所)
- 14:30~15:00 カプサイシンとメントールによるそれぞれ TRPM8 と TRPV1 の活性化制御
高石雅之(株式会社マンダム)
- 15:00~15:30 ナノメカニカルセンサ「MSS」の総合的研究開発
吉川元起(物質・材料研究機構 MANA)
- 15:30~15:50 coffee break
- 15:50~16:20 アジュバント入りワクチンは危ない?アジュバントの基礎と臨床(仮)
石井健(iFReC/医薬基盤・健康・栄養研究所)
- 16:20~16:50 皮膚の免疫細胞と非免疫細胞との相互作用(仮)
椛島健治(京都大学医学部皮膚科学)
- 16:50~17:20 インターロイキン 27 の感覚閾値調節における役割
八坂敏一(鹿児島大学大学院)
- 17:20~17:50 体性感覚野における発達期ミクログリアによるシナプス形成
宮本愛喜子(神戸大学 生理学・細胞生物学講座)
- 17:50~18:20 真菌感染随伴症状の生物学的意義とその制御に関する一考察
丸山健太(大阪大学 免疫学フロンティア研究センター)
- 18:30~ 情報交換会 OCC

7月4日(火)

- 9:00～9:30 オルガネラ損傷により誘導される自然免疫応答の理解と制御
 齊藤達哉（徳島大学 先端酵素学研究所 炎症生物学分野）
- 9:30～10:00 中枢と末梢臓器を繋ぐ神経生理動態の包括的解析
 佐々木拓哉（東京大学薬学部）
- 10:00～10:30 感覚神経のイメージング
 岡田峰陽（理化学研究所組織動態研究チーム）
- 10:30～10:50 coffee break
- 10:50～11:20 慢性掻痒皮膚炎における表皮バリア破綻と感覚神経の活性化
 高橋苑子（横浜市立大学大学院）
- 11:20～11:50 感覚神経における起痒物質受容体遺伝子 Mrgprx1 の発現変化
 石田梓（横浜市立大学大学院）
- 11:50～12:20 痒みの慢性化における神経系メカニズム：脊髄後角アストロサイ
 トの役割
 津田誠（九州大学大学院薬学研究院）